

# T O P I C S

## 平成19年度科学技術週間一般公開の報告

平成19年度科学技術週間における当所（つくば）の一般公開が4月20日（金）に開催された。当日は、幸い天候にも恵まれ、955名の方が訪れた。

今年一般公開は、中期計画における当所の業務をわかりやすく説明することを目的として各研究チームやセンターの活動を紹介すると同時に、講演会、所内ミニツアー、体験コーナーを開催した。概要は以下のとおりである。

- ・パネル展示  
「鳥インフルエンザを知る」、「BSE からヒトを衛（まも）る」など
- ・講演会  
「動物からうつる病気」、「鳥インフルエンザはこんな病気」
- ・体験コーナー  
「家畜を見る、観る、診る！」  
牛・ウサギとのふれあいと聴診体験
- ・所内ミニツアー  
「ミクロなインフルエンザウイルスをのぞこう」  
電子顕微鏡でインフルエンザウイルスを観察

アンケートの結果、鳥インフルエンザ関係、牛海綿状脳症（BSE）への関心が高く、体験コーナーで牛とウサギに手で触れられたことがよかったと言う反響が多かった。

また、「こんな動物の病気があることを今まで知らず、今回知ることができて勉強になった」との意見や「体験コーナーを増やしてほしい」という要望もあり、一般公開の重要性と公開内容の工夫をさらに向上しなければならないことを認識したところである。

一般公開開催にご協力いただいた関係各位にあらためて感謝を申し上げます。

（情報広報課）

